

入れ歯が危ない！

「保険で良い歯科医療を」 決起集会

入れ歯の窓口負担が増えたり、保険だけでは入れ歯が作れなくなる。こうした入れ歯についての問題点など、歯科医療費抑制政策のもとで危機的

状況にある歯科医療の現状を打開しようと、「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は10月25日、東京・青海の国際交流館で、

「入れ歯が危ない」保険で良い歯科医療を10・25 決起集会を開催した。集会には歯科医師ら4

18人が参加し、日本歯科医師会をはじめ136の団体・個人からメッセージが寄せられた。宇佐美宏保団連歯科代表は基調報告で、「連立政権に向けて、われわれの

側からの歯科保険医療改善の政策提言と運動が、今こそ求められている」と述べた。集会は、「保険で良く噛める『入れ歯』ができるようにしましよ

全国の歯科医師ら街頭宣伝行動

決起集会の開催に先立ち、東京・有楽町のマリオン前で街頭宣伝行動を行った。全国の歯科医師、技士、衛生士ら230人以上が参加。217筆の署名が集まった。



10・25 決起集会（上）と有楽町マリオン前で行われた街頭宣伝行動（下）のもよう